



全国から届けられた飲料水を高齢者宅などに配るため、車に積む「ほんぼくらんど」の社員

12日午前、上島町岩城

輪の互助 断水続く

住民が井戸水提供 全国から飲料水 高齢者宅へ配布

上島・岩城島

ほぼ全戸で断水が続く上島町。岩城島では住民が井戸水を提供したり、全国から届けられた飲料水を高齢者宅などに届けたりと、厳しい状況の中、互いに支え合う輪が広がっている。

町が水を引く広島県三原市の取水場などが被害を受けたため、7日から上水道



井戸水の利用を呼び掛けるパネル

12日午前、上島町岩城

が断水。町の応急給水は1日数時間、1人5リットルで、約3800戸が影響を受けている。

岩城島では約20軒の井戸水の所有者が軒先に「井戸水提供所」のパネルを掲げ、飲料用以外での使用を呼び掛ける。別の場所では、洗濯機3台、食器などを洗える流し場を開放。自由に使えるようにしている。

井戸水を所有する佐伯正明さん(74)は「困ったときはお互いさま」とし、洗濯に訪れた女性は「親切心がありがたい」と話す。

島内の農産物を全国に出荷する「ほんぼくらんど」には、現時点で計5ト以上ペットボトルの水が届い

た。島の現状を8日にフェイスブックに投稿したところ、北海道から長崎まで全国の取引先や匿名の人から次々と送られ、同社は「今も到着しており、感謝しかない」。

社員2人は、町の応急給水所に来づらい高齢者や乳幼児がいる家庭などを訪れ配布。事務所に取りに来る人もおり「町の給水だけでは足りず、助かる」と68歳の女性。他の住民も配布に協力しているが、手助けしてくれる人を募っている。

町によると、上水道は20日ごろの復旧を目指している。

(月岡岳)